

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

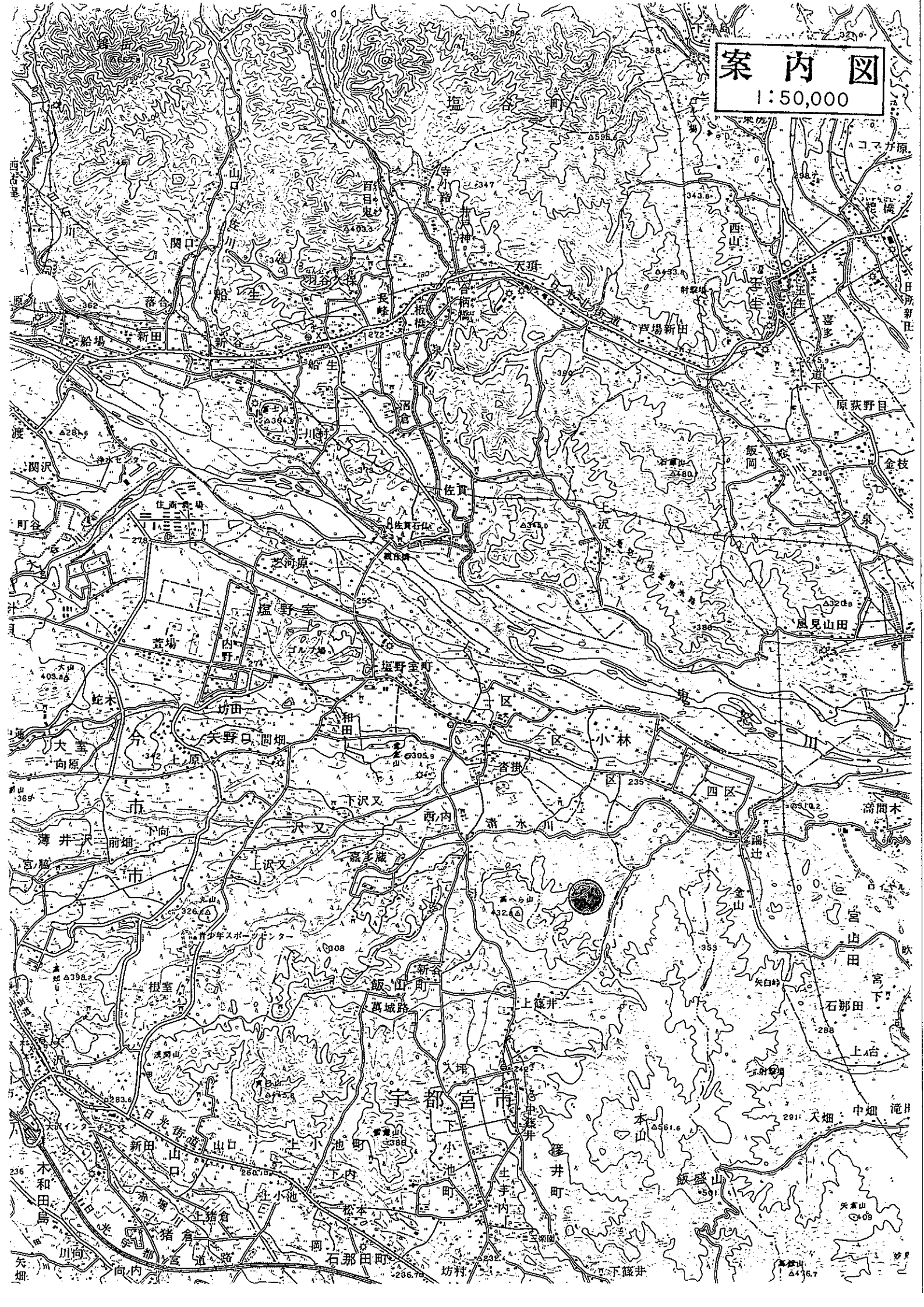
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

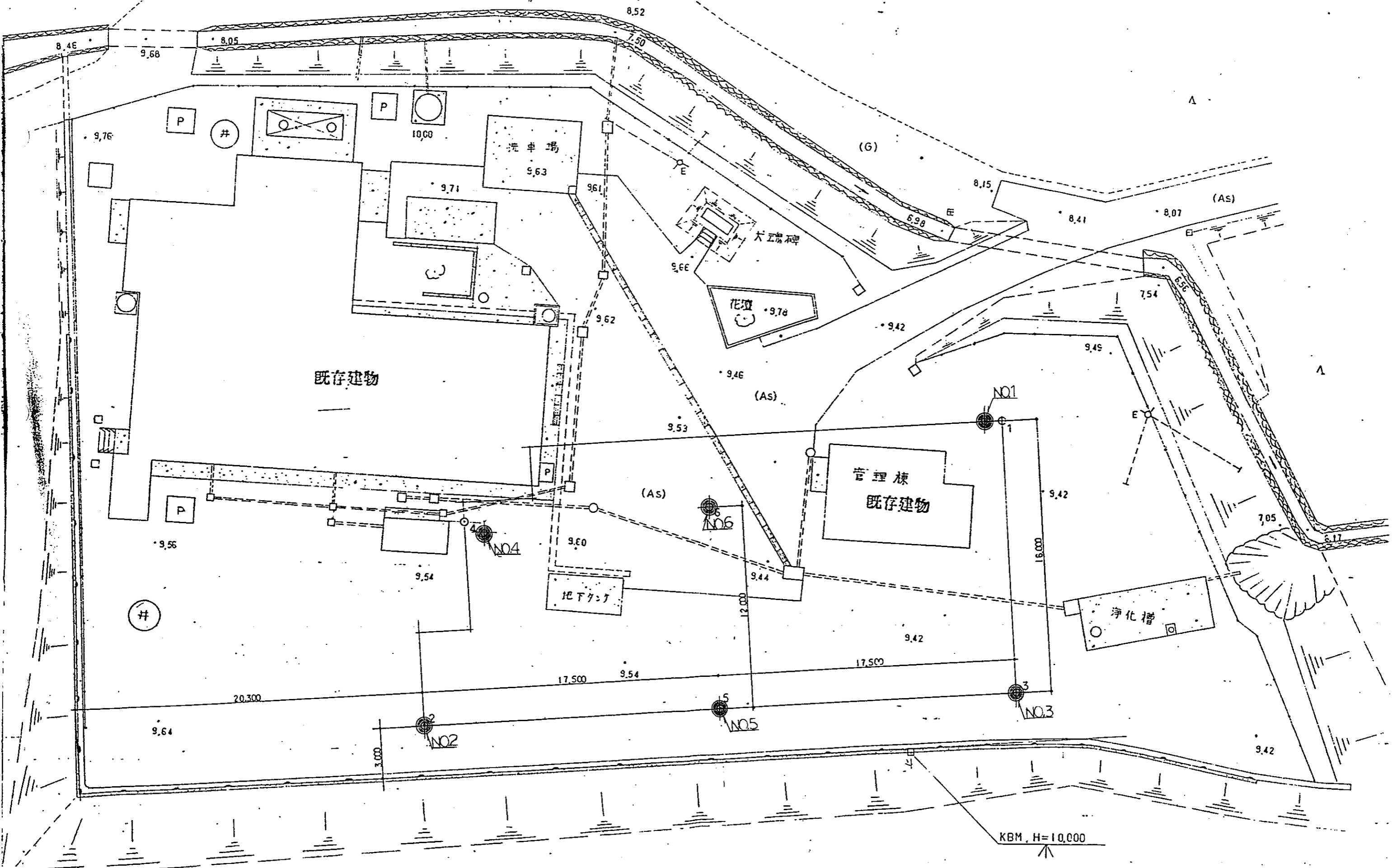
案内図

1:50,000



ボーリング孔配置図

S=1:200



ボーリング柱状図

調査名 栃木県ドッグセクター新築工事

事業・工事名

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 2 孔	調査位置	今市市小林2078-2
発注機関	栃木県土木部建築課	調査期間	平成 1 年 7 月 11 日 ~ 1 年 7 月 12 日
調査業者名	主任技師	現場代理人	ア コ 鑑定者
孔口標高	RBM 9.50m	方位	ハンマー
			トンビ
総掘進長	12.00m	エンジン	ヤンマー NS75C
		ポンプ	大野 OD60S

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對稠度	相對密度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験採取		掘進月日	
											深度 (m)	10cm 以上の打撃回数	30cm の打撃回数 / 貫入量 (cm)	試験名		試験料番号	採取方法		
9.00	0.50	0.50	1.15		盛土	暗褐	軟らかい		上部厚層及びコンクリート片を混入し土砂より成る。小骨及び細砂を多く含む。七本様軽石等を混入する。	7/12 1.05	1.15	1	1/30	1	30				
8.01	1.05	1.55	2.46		粘土質ローム	褐	軟らかい		含水比高。粘性高。粘径5~20mm程度の角礫混入。若干今市軽石等を混入。		2.46	1	1/13	1	33				
7.06	0.95	2.50	3.48		風化凝灰岩	褐	軟らかい		粘径10~30mm程度の角礫を含む。風化際、軽石等を含む。		3.48	50	3	50	5	0			
5.91	1.15	3.65	4.15		凝湿り粘土	淡褐	軟				4.15	50	3	50	5	0			
3.66	2.25	5.90	5.15		凝湿り粘土	淡褐	軟				5.15	50	3	50	5	0			
			6.00		凝湿り粘土	淡褐	軟				6.00	50	0	50	0	0			
			7.00		凝湿り粘土	淡褐	軟				7.00	50	0	50	0	0			
			8.00		凝湿り粘土	淡褐	軟				8.00	50	0	50	0	0			
			9.15		凝湿り粘土	淡緑灰 ~ 赤褐灰	軟		軽石及び石英等を多く含む。柱状コア長100mm程度を採取。8.50m付近より色調変化。下部所々風化している。		9.15	50	2	50	2	0			
			10.00		凝湿り粘土	淡緑灰 ~ 赤褐灰	軟				10.00	50	0	50	0	0			
			11.00		凝湿り粘土	淡緑灰 ~ 赤褐灰	軟				11.00	50	0	50	0	0			
			12.00		凝湿り粘土	淡緑灰 ~ 赤褐灰	軟				12.00	50	0	50	0	0			

ボーリング柱状図

調査名 栃木県ドッグセンター新築工事

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No. 3孔		調査位置	今市市小林2078-2		北緯		
発注機関	栃木県土木部建築課		調査期間	平成11年7月7日~11年7月7日		東経		
調査業者名	主任技師		現場代理人	コリア鑑定者		ボーリング責任者	トンビ	
孔口標高	KBH 9.42m	方向	北 270° 西 180° 東 90°	試験機	大野ORV-100	ハンマー	落下用	
総掘進長	8.20m	角度	180° 上 90° 下	エンジン	ヤンマーNS75C	ポンプ	大野OD60S	

シートNo.

標尺	層厚	標高	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験		原位置試験	試験採取		掘進月日
								深度	N値		深度	試験名	
9.12	0.30	0.30		盛土 腐植質粘土	暗褐色 暗褐色	軟弱 非常に軟らかい	上部腐植質混入した硬質粘土。腐植質及び木片等を混入。粒径5~10mm程度の角礫石及び粗砂を混入。腐植質を多く含む。全土に砂分を含む。5~30mm程度の角礫石及び中砂を混入。7.5m付近に隣接リロームを扶	深度	N値	深度	試験名	採取方法	
8.82	0.30	0.60						1.15	1				
8.52	0.30	0.90						1.50	1				
8.22	0.30	1.20						2.15	30				
7.92	0.30	1.50						2.45	50				
7.62	0.30	1.80						3.15	50				
7.32	0.30	2.10						3.20	50				
7.02	0.30	2.40						4.15	3				
6.72	0.30	2.70						4.18	3				
6.42	0.30	3.00						5.15	5				
6.12	0.30	3.30						5.20	5				
5.82	0.30	3.60						6.15	5				
5.52	0.30	3.90						6.20	5				

ボーリング柱状図

調査名 栃木県ドッグセンター新築工事

事業・工事名

ボーリングNo.												
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 4 孔			調査位置	台 市 市 小 林 2 0 7 8 - 2			北 緯
発注機関	栃木県土木部建築課			調査期間	平成 1 年 7 月 1 2 日 ~ 1 年 7 月 1 3 日			東 経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コアア 鑑定者			ボーリン ク責任者
孔口標高	9.57m	角 度	方 向	北	大 野 O R V - 1 0 0	ハンマー	ト ン ビ	
総掘進長	13.00m			東	ヤ ン マ ー N S 7 5 C	落下用具		

標 尺	層 厚	標 高	深 度	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位	標準貫入試験		原位置試験	試料採取	掘進
											10cmごとの 打撃回数	打撃回数×貫入量 (cm)			
1	0.50	9.07	0.50	盛土	暗褐色	軟らかい			腐植及び軽石等を混入した腐植土より成る。 含水比高位。粘性度中位。 粗砂を含む。 粒径5~10mm程度の今市軽石等を混入する。 2.20m付近より粒径10mm程度の角礫を点状。 2.75m付近より粘土質ロームを薄層に挟む。	7/13 1.00	1.15	32			
2	2.40	6.67	2.90	砂質粘土	褐色	軟らかい					1.47	30			
3	2.40	4.27	4.65	凝湿り粘土	褐色	中位			含水比中位。粘性度中位。 粒径5~20mm程度の角礫混入。 若干軽石等を混入する。 3.60m付近より色調酸化し、礫最大径50mm程度の角礫を混入。		2.45	32			
4	1.75	4.92	4.65								3.15	31			
5											3.46	30			
6											4.15	28			
7											4.45	25			
8											5.15	25			
9											5.20	24			
10											6.15	24			
11											6.19	23			
12											7.15	23			
13											7.20	23			
14											8.15	23			
15											8.18	23			
16											9.15	23			
17											9.20	23			
18											10.15	23			
19											10.20	23			
											11.00	23			
											12.00	23			
											12.00	23			
											13.00	23			

ボーリング柱状図

調査名 栃木県ドッグセンター新築工事

ボーリングNo.	
----------	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 6孔		調査位置	今市市小林2078-2		北緯		
発注機関	栃木県土木部建築課		調査期間	平成11年7月13日~1年7月14日		東経		
調査者名	主任技師		現代理人	アコ鑑定者		ボーリング	トンビ	
孔口標高	KBM	9.49m	使用機種	大野ORV-100	ハンマー	落下用具	トンビ	
総掘進長		13.00m	方向	北0°	エンジン	ヤンマーNS75C	ポンプ	大野OD60S

シートNo.

ボーリング		標準貫入試験		原位置試験		試験採取		掘進月日	
標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	深度 (m)	試験名および結果
1	8.39 ~ 1.10		盛土	灰く暗褐	軟らかい		上部アスファルト、0-40mm程度の砕石等を混入したやや粘土質の腐植土より成る。	1.15	
2	1.10 ~ 1.10		砂	灰	軟らかい		含水比高。全体に産卵巣を点在する。上部砕石を混入する。全体に不均質。	1.45	
3	1.10 ~ 4.80		砂質粘土	褐灰				2.45	
4	4.80 ~ 3.70		風化凝灰岩	褐色			全体に風化激しい。所々固結状を呈し、岩芯最大50mm程度の棒状コアを採取する。10m付近より色調硬化する。	3.15	
5	3.70 ~ 4.80		風化凝灰岩	褐色				3.45	
6	4.80 ~ 6.00		風化凝灰岩	褐色				4.15	
7	6.00 ~ 7.00		風化凝灰岩	褐色				4.45	
8	7.00 ~ 8.08		風化凝灰岩	褐色				5.15	
9	8.08 ~ 9.00		風化凝灰岩	褐色				6.00	
10	9.00 ~ 10.06		風化凝灰岩	褐色				6.08	
11	10.06 ~ 11.04		風化凝灰岩	褐色				7.00	
12	11.04 ~ 12.05		風化凝灰岩	褐色				7.05	
13	12.05 ~ 13.00		風化凝灰岩	褐色				8.00	
14	13.00 ~ 13.00		風化凝灰岩	褐色				8.08	

